

第12章

シミュレーション

第12章 シミュレーション もくじ

12.1 シミュレーションとは・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12-2

12.2 シミュレーション設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12-4

12.1

シミュレーションとは



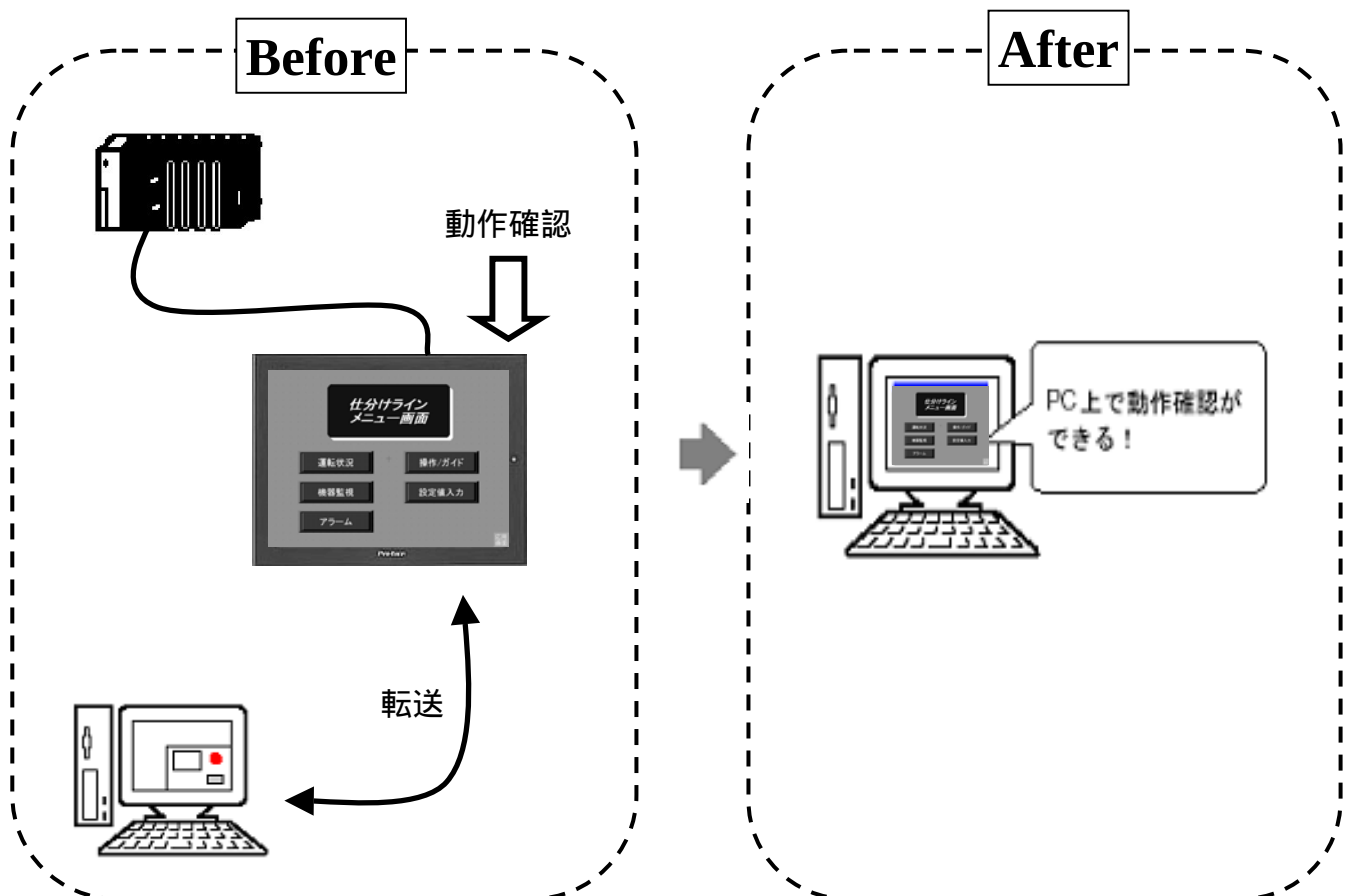
シミュレーションとは

シミュレーションとは

パソコン画面上でGP画面の動作確認が出来る機能です。

GP本体や接続機器を利用する必要がなく、作画の途中でも、いつでも気軽に転送後の操作や表示の確認が出来ます。

参照 → リファレンスマニュアル
32.2 「パソコン上で表示器の動作を確認したい」



12.2

シミュレーション設定



シミュレーション設定

特に難しい設定は必要ありません。作画ソフト GP-Pro EX V2.0以上のメニューから「シミュレーション」を選択して下さい。

画面を確認する「Simulation View」ウィンドウとDevice Viewをコントロールする「Simulation」ウィンドウの二つのウィンドウが開きます。

「Simulation View」ウィンドウ上では通常のタッチ動作と同じ処理をマウスで行えます。

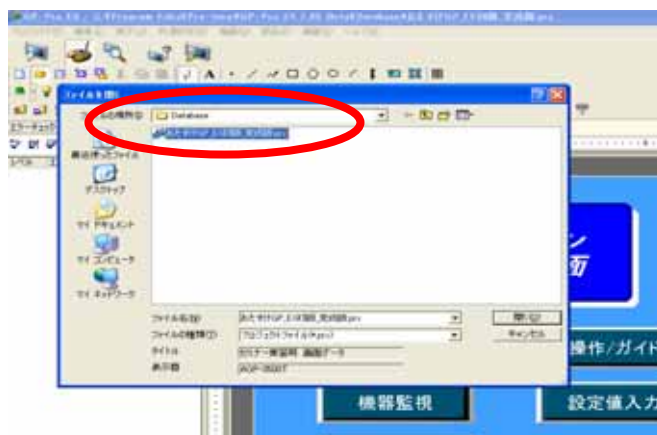




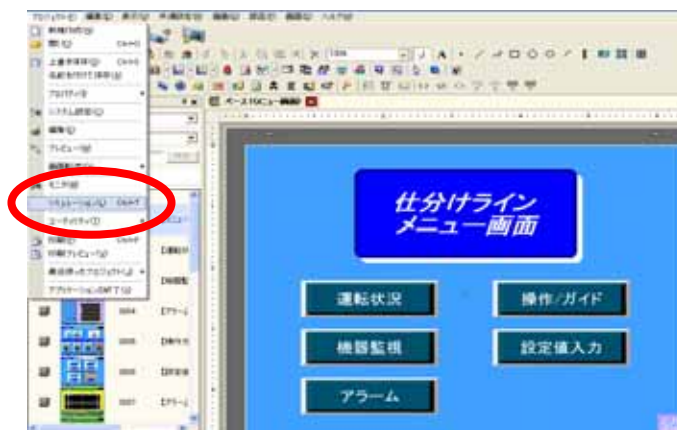
シミュレーション

(1) シミュレーションの開始

ここでは例として、既存プロジェクトとしてテキストに付属しているC Dの中から、「おたすけGP_EX初版_完成.prx」を選択します。



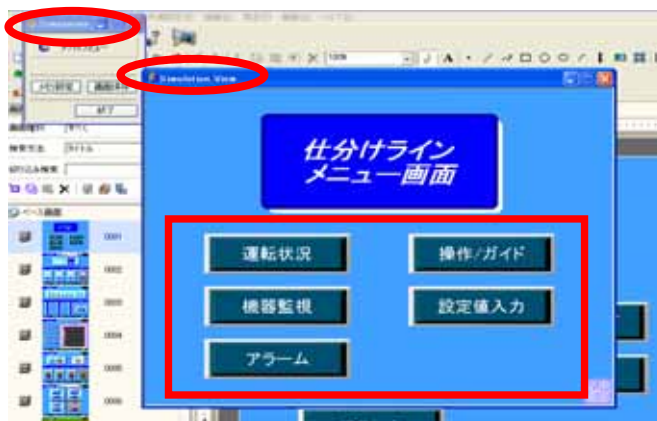
画面が開いたらメニューバーから「プロジェクト」をクリックし、「シミュレーション」を選択します。



(2) シミュレーションの操作

「Simulation View」ウィンドウが開いたら、画面上のスイッチをマウスクリックしてみます。

いくつかスイッチを押して画面が切り替わることを確認します。



「Simulation」ウィンドウの「画面保存」ボタンを押すと、シミュレーションされている状態の画面をJPEG形式で保存できます。

保存した画面はそのまま運転状態の説明マニュアルなどに利用できます。



JPEG画像ファイルの保存場所は
¥Program Files¥Pro-face¥GP-Pro EX 2.00¥CFA00¥CAPTURE
です。（変更は出来ません。）

参照 → リファレンスマニュアル
32.3.1 [Simulation]の設定ガイド

終了するには「Simulation View」ウィンドウを直接終了させる（ウィンドウ右上の閉じるボタンを押す）か、「Simulation」ウィンドウで「終了」ボタンをクリックします。



★ ワンポイント

- ・画面を修正しながら「Simulation View」を見ることは出来ませんが画面を変更した結果は反映されません。一度シミュレーションを終了し、再度手順 から始めて下さい。その際、プロジェクトを保存する必要はありません。
- ・キーボード上の「Ctrlキー+T」でもシミュレーションに入ることが出来ます。

注意！

ロジック画面（INIT、MAIN）のプログラムはシミュレーションでは動作しません。ロジック画面を使用する場合は、デバイスビュー（Device View）ウィンドウから手動で変数やアドレスを操作して下さい。

